

講演会「インダストリー4.0とIoTは世界をどう変えるか」

開催日：2017年8月31日(木)

場 所：経団連会館

講 師：フリージャーナリスト 熊谷 徹 氏

経済広報センターは8月31日、在独ジャーナリストの熊谷徹氏を招き、ドイツの「インダストリー4.0」の動向、IoTへの取り組みと日本の課題をテーマに講演会を開催した。

インダストリー4.0とは、ドイツ政府が2011年に打ち出したコンセプトで、高度にデジタル化された製造プロセスとビッグデータの活用を融合させ、新たなビジネスモデルの構築を目指すもの。熊谷氏は、ドイツ政府や経済界に対する取材をもとに、IoTが経済成長の大きなチャンスをもたらすこと、ならびに、インダストリー4.0の成功に向けては雇用、データ保護等の対策が不可欠であることを説明。そのうえで、社会的な影響を最小限に抑え、競争力強化を実現するために、IoTに関する政府の主導的な役割の重要性を強調した。

熊谷氏は、ドイツ政府の積極的な取り組みの背景には、まず、IT分野における米国の圧倒的競争力と製造大国としての中国の台頭に対する危機感があると説明した。加えて、IoTの普及が中小企業の活動や雇用に影響することは不可避であることから、政府として予め対策を講じる狙いがあると指摘した。加えて、「スマート・サービス」などIoTの国際標準・規格づくりに向けた国際競争激化の現状を紹介した。



熊谷氏は、「日本では、ドイツのインダストリー4.0が政府主導のプロジェクトである点が十分に認識されていない」と述べ、IoT時代に必要な技能教育の実施や国際標準づくりへの効果的な対応などを行うべく、日本においても政府がより積極的な役割を果たすべきだと強調した。

以 上